

会 議 名	第2回港区立箱根ニコニコ高原学園指定管理候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年6月13日（木） 午前10時から午前12時00分まで
開 催 場 所	区役所7階 教育委員会室
委 員	出席者 5名 井上委員長、吉野副委員長、石井委員、油布委員、井谷委員
公認会計士	坂本亮公認会計士事務所 坂本 亮
事 務 局	鈴木学務課長、学務課学校運営支援係 上野 青天目 大橋
会 議 次 第	1 開会 2 財務状況等分析結果の報告 3 議題 議題1 第一次審査通過事業者の決定について 議題2 第二次審査基準について（プレゼンテーションについて） 4 今後のスケジュール 5 閉会
配 付 資 料	資料1 財務状況調査・分析報告書 資料2 資金計画調査・分析報告書 資料3 第一次審査（書類審査）採点集計表 資料4 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）採点表 資料5 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）の実施について（案） 資料6 第1回港区立箱根ニコニコ高原指定管理者候補者選考委員会会議録
会議の結果及び主要な発言	
公認会計士	1 開会 2 財務状況等分析結果の報告 （資料1及び資料2について説明。2事業者とも、財務状況分析結果「可」、資金計画分析結果「A」）
委員長	ただいまの説明についてご質問ご意見等ございますか。
A委員	B事業者の資料では、今後ハイブリッド車の導入を予定しているとありましたが、収支計画の中に組み込まれていますか。

公認会計士	令和7年度の計画には、直接的には見受けられませんでした。何か事務局の方で認識していることがあれば、コメントいただければと思います。
事務局	様式10の資金・収支計画書の使用料及び賃借料の内訳として、車両リース経費が計上されていることから、リース車両をハイブリッド車に転換していく趣旨であると捉えています。
C委員	各事業者の計画書類の様式10及び様式11のうち5年分の受託経費見積もりがあります。その中の「その他経費」についてのその金額は適切ですか。またA・Bそれぞれの事業者で随分差があるように思えますが、ここに関しての評価があるのかどうか教えてください。
公認会計士	その他経費には本部経費などが該当します。巡回指導、経理、本部で使用するシステムの利用料が組み込まれている点は両社とも共通しています。 本部経費に関しては、金額の多寡とは関係なく役務提供の内容がはっきりしない場合は問題のある可能性があります。今回は両事業者も記載しているので、その点については適切と思います。 質的な面、金額的な面いずれにしても、不明瞭な点はないという意味で、問題ないというふうに考えております。
C委員	差がある場合でも計算の根拠を出していて、割合的にも問題のある水準ではないということですね。
委員長	その他、ご質問ご意見等ございますか。 では、財務状況分析、資金計画分析の報告について、以上でよろしいでしょうか。
全委員	(異議なし) (公認会計士退室)
	3 議題 議題1 第一次審査通過事業者の決定について
委員長	それでは、次第の項番3の議題の1、第一次審査通過事業者の決定について進めます。事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料3について説明)
委員長	説明が終わりました。 これより審議に入りますが、事務局から何か補足の説明はありますか。

事務局	事務局から２点、補足の説明があります。 １点目は、障害者の法定雇用率の達成見込みについてです。２事業者とも現時点で法定雇用率は達成していませんが、Ａ事業者は２０２５年中に達成見込みであり、Ｂ事業者は達成に向けて雇用促進に取り組んでいるとのこと。 ２点目は、エレベーターの保守管理の再委託についてです。港区では、平成１８年６月に、区民向け住宅シティハイツ竹芝で発生したエレベーター事故を踏まえ、エレベーターの保守管理はその製造会社に行わせるとしています。今回の業務仕様書でもそのように定めておりますが、Ａ事業者の計画書では製造会社以外に再委託すると記載されていることが確認できました。補足説明は以上となります。
委員長	それでは、採点の結果について、各委員から講評をお願いします。
Ａ委員	全体的に、Ａ事業者は、提案が一般的な内容であり、どこでも通用するかなという感覚を持ちました。一方、Ｂ事業者は本施設にカスタマイズされた提案が数多くされていて、学校が使いやすい印象を持っています。 Ｂ事業者の提案では、３（１）の移動教室の日程に合わせた人の配置が良くできている印象で、高く評価したのと、足りないときには非常勤が最大２６名体制を取られている点が非常に良いと思いました。 また、５（３）のキャンプファイヤーのサポートについて、明記されていることは、教員の働き方改革の側面で非常に助かると思いました。また、雨の日プログラムの事業提案がされている点で、子供たちの学習が非常に厚くなることが評価できると思いました。 ５（５）の社会教育団体の食事の選択制について、社会教育団体は色々な種類の団体さんがいらっしゃいますので、食事を選択できる点とテニスコートを代行で申し込みしてもらえる点は非常に助かるなと思いました。ヨガマットとかストレッチボールといった時代のトレンドを押さえてくれていると思いました。 ６（１）の今後のキャリア教育支援を謳っている点、職業体験のことに触れている点はこれからの教育的には意味があると思いました。 あと、細かいことで、個別の下見の対応支援があるのは、学校側としても、非常に助かる印象がありました。 全般的に考えると、Ｂ事業者を評価して点を付けました。
Ｂ委員	より広い視点に立って考えた時に、Ｂ事業者の方が、事業という形で手広くやっていることはうなずけました。Ａ事業者よりも、新しい拠点で様々な活動を展開している、全国的に展開している点も伺えました。 一方、Ｂ事業者は非常勤職員数が多く悩むところが多くありました。 学校の宿泊行事を考えたときに、Ａ事業者は教育目標、目的に従って手堅くやっている、そして、夏の時期に焦点を合わせて計画されている点に安心感があると評価しています。 ３（１）ですが、「職員の福祉」の観点で考えると、もう少し検討の余地があると思います。職員体制に関して、非常勤職員を多く雇用するということには一定のリスクが伴うと捉えており、低い評価になっています。職員のローテーション表等を見た

	きに、A事業者はかなり無理をされているようにも見えますが、11時から15時まで、施設長は勤務していないと書かれていたので、しっかりとローテーションを組まれているように思えます。B事業者は9時から17時までという勤務だったと思いますが、宿泊を伴う教育施設として責任者がそこにいることが望ましいと思われたときの配置になっているのではないかと思いますので、先ほどの全般的な評価に繋がるものとして評価しました。
E 委員	私は、A・B両事業者とも、提案の内容としては非常に密度の濃い提案だったというふうに感じています。 その中でも、特にB事業者に関しては、この施設に特化した、具体的に踏み込んだ提案が用意されているのかなという印象を持ちました。2（1）の資金収支計画書の部分について、B事業者に関しては積算が詳細で具体的だった点、また、大規模改修工事が行われるということも公募要項に記載されている中で、その改修工事に伴う設備機器の効率化、それから光熱水費の算定においてそれらを加味する、そういったところの具体性も示されていた点について高く評価しました。 また、3（5）の環境に配慮した施設運営の取組について、B事業者に関しては施設側、利用者、地域、それぞれの視点で取り組むことが具体的に記載をされていました。施設運営側の視点で、ZEB化に向けた提案や意欲、そういったものを示すなど、積極的な姿勢も伺えると感じました。 3（7）の再委託を予定している業務に関して、エレベーターの委託先等々含めて、例えばエレベーターや自動扉、そういった利用者の安全に直結するものに関して、B事業者に関しては、製造元への点検委託をするということが書かれている反面、A事業者に関しては過去の自分たちが管理している会社の実績でその委託先を決めているというようなところがあり、その点で差が見受けられました。安全性・責任所在の明確化の観点からすると、この点についてはB事業者の方が優れていたのかなというふうに考えています。 最後に5（3）の移動教室夏季学園の実施時の活動支援の提案についてですが、B事業者に関しては、天候不良の対応、それから悪天候でもこの施設に来たからできることなどを具体的なプログラムとして記載がされていると感じました。防災教育の視点を使ったカードゲームなど、集団で学ぶメリットを生かした、充実した内容が提案されているように感じました。
C 委員	まずは全体的な印象として、両方ともいい提案であります、特にB事業者の方がより具体的に記載していると全体を通して感じました。 2の資金収支計画書については、先ほどの公認会計士による説明でもありましたが、その他経費の捉え方として、単に全体の金額の高低なのか、より明確になっているかという視点で評価すべきか悩んでおり先ほど、質問させていただきました。その点についてはもう少し、今ここで考えていこうかなと思っています。 その他の計画資料も具体的に書き込めばいいというものではなく、きちんとそれが移動教室・夏季学園の実施時に適しているかどうかといった視点で見ました。特に、子どもたちに直接関わる場所では、アレルギー対応は一つの誤りが本当に事故に繋がります。A・B両事業者ともマニュアルを整備してきちんと対応する姿勢がうかがえ

	ますが、B事業者は対応の具体性・現実性があることに加え、そして宗教食対応まで踏み込んでいるところもプラスアルファがあると感じました。 そのほか、実地踏査や学校の対応に関する部分は、より細かく具体的かつ現実的に記述してあるというところで、全体的にB事業者を評価しました。
D委員	私自身、他の委員と比べると全体的に厳しめに評価したかなというところがあります。評価項目の基準の「普通」は、当然やっていく必要があると思い評価していますが、後で少し評価の振り返りをして、少し改善したいと思っています。 全体的に、A事業者は基本的な考えを明確に示している点が評価できました。ただ、箱根ニコニコ高原学園は児童が利用する施設なので、ここの理解がどこまでできているのかというところに、少し不安が見受けられました。B事業者は事例などを示して、非常に具体的な提案をしています。企業ノウハウや経験値をもとにしているのかなと思いますが、実行可能性については不安が残ります。特に、「周辺施設との連携」を多く謳っていますが、その実績がどこまであるのかというところも気になりました。確かに近くにそういった頼れる施設があるのは良いことだと思いますが、挙げる以上はその効果がどの程度あるのかまで踏み込んでほしいと思いました。 3(1)では、A事業者ははっきりとナイトフロントを置くと言明している点は評価できると思いました。一方でB事業者は、具体的に子どもたちが来たときの動き、来ないときの動きを分析的に示している点が評価できました。 4の安全の部分ですが、B事業者は道路情報や野生動物等いろいろな地域情報を仕入れて、その情報を学校にすぐに伝えるというようなところまで書いています。普段からそういうアンテナを高くしてないとそのような情報は入らないのでこの点を評価しました。A事業者は火山情報に関して記述がありましたが、アンテナの高さとして考えると一般的かという感じで評価しました。
委員長	何点か、委員間で評価が分かれたところがいくつかございました。 6(1)と(2)はA委員とB委員で2段階差がありますが、それぞれの委員の講評の中では、しっかりとお話があったと思います。 例えばA委員は、各提案の考え方や取り組みに具体性があるかで評価している点。B委員は、「普通」の基準を4としてつけている点。このような理解でよろしいですか。
A委員	私は具体性の有無で捉えました。 特に、学校が使用するときの対応をどうしているのか、提案や取り組みの数が多くされているほうに、得点を高くつけました。
D委員	私は厳しめに採点していますが、視点はA委員と同じです。しかし具体的内容について、本当に実現できるのかというところに疑問が残りました。そこで、実効性も考慮して「普通」と評価したところもありました。
委員長	その他採点評価等に、違いが大きいところでご意見がありますか。よろしいですか。
全委員	(異議なし)

委員長	各委員からの講評と意見交換を踏まえて、ご自身の採点について振り返る時間を5分程度設けます。採点を変更する場合は、お手元の第一次審査採点集計表の自身の欄を、二重線で修正して新たな点数を記載してください。変更の有無にかかわらず、両事業者とも5分後を目安に事務局が回収します。よろしいですか。
全委員	(異議なし) (全委員の採点表を回収・再集計)
委員長	第一次審査採点表を確定いたします。 A事業者が651点、B事業者が783点となりました。 第一次審査通過事業者は、得点が満点の60%以上の事業者となります。両事業者とも満点の60%以上の得点となっていることから、第二次審査に進むのは、A事業者とB事業者となりますがよろしいですか。
全委員	(異議なし) 3 議題 議題2 第二次審査基準について（プレゼンテーションについて）
委員長	それでは次の課題に移ります。議題2、第二次審査基準についてです。 事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料4について説明)
委員長	事務局からの説明が終了しました。何かご意見等がありますか。
C委員	プレゼン時間10分、質疑応答20分の計30分の時間は固定ですか。
事務局	設定はあくまで案になります。色々と聞いてみたいので、例えばプレゼンは10分のままとして、質疑応答の時間を25分や30分にして、1コマを伸ばすということは可能です。
C委員	委員が5人いますので、仮に全委員が一言話したとして、質疑が20分の場合単純に言うと1人当たり4分。委員が2分話して候補者が2分答える形で考えたときの割合が妥当であればこのままでいいと思いますし、どうでしょうか。
委員長	いかがでしょう。実質的には5人の委員が1問ずつ質問したら20分ぎりぎりになりますよね。
事務局	時間管理の観点からお話させていただきますと、第3回については、冒頭10分ぐら

	い委員の皆様だけでお集まりいただいて、進め方の確認をしていただいた後、最初の事業者が入ります。次の事業者の入れ替えが5分ぐらいあり、次の事業者も同様に実施した後、委員による審議という形を考えていますので、仮に質疑を1事業者あたり5分、計10分延ばしたとしても時間的には問題ありません。
委員長	今日の議論からすると各委員気になるところがありそうですので、質疑を25分にしたいと思いますよろしいですか。
全委員	(異議なし)
	4 今後のスケジュール
委員長	項番の4、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。
事務局	(次回の選考委員会について説明)
委員長	ご質問等ありますか。
全委員	(なし)
	5 閉会
委員長	それでは以上をもちまして、第2回港区立箱根ニコニコ高原学園指定管理者候補者選考会を閉会します。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

※委員長における質疑や講評等に関する発言については、「委員」として表記しています。